

第1回「性の超越と仏教」

2022年9月10日（土） 12:00－16:00

発表者プロフィール

- サッチャーナンディ（龍谷大学大学院文学研究科）

ミャンマー出身のティーラシン。上座部では仏教の女性出家者「比丘尼」の系譜が断絶したため女性出家者は正式には存在しないとされるが、ミャンマーでは「ティーラシン」と呼ばれる八戒あるいは十戒を受持する女性修行者が出家として公式に認められている。

現在、龍谷大学大学院文学研究科で、諸律蔵の比丘尼戒度における女性出家を中心とする研究を続けている。主要な論文に「ミャンマー国家総統委員会編『比丘尼についての裁定資料』(Bhikkhuniwinissaya Sardan) 翻訳と注解」(『龍谷大学佛教学研究室年報』25-26、2022年) などがある。

- 岸田 悠里（龍谷ミュージアム RA）

2016年龍谷大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学後、2019年博士学位(文学)取得。経典の解釈を通じて、それがどのように絵画表現されてきたのかに関心を持ち、研究を続けている。

2016年から龍谷ミュージアムでRAとして勤務し、『ブツダのお弟子さん－教えをつなぐ物語』(龍谷大学 龍谷ミュージアム・京都新聞・朝日新聞社、2022年)の図録執筆などを行う。代表的な論文に「宗祐寺所蔵仏涅槃図と『小涅槃経』」(『龍谷大学大学院文学研究科紀要』39、2017年)がある。

- 大谷 由香（龍谷大学特任准教授）

2006年龍谷大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学後、2009年博士学位(文学)取得。

2017年4月から本学特任講師、2020年4月から現職。東アジアの仏教戒律思想の変遷を専門とする。単著に『中世後期泉涌寺の研究』法蔵館(2017年)、論文に「越境する戒律問答」(2022年)などがある。